

学会ニュース

No.4



はじめに

2022年12月10日(土)に、第52回インナーゼミナール大会が開催されました。今年度は33チームが参加しました。

インナーゼミナール大会(インゼミ)とは、甲南大学経済学会主催の行事で、1971年に始まりました。インゼミは、学生主体のゼミナールにおける研究活動の成果発表の場であり、ゼミナール間の交流を深めることを目的としています。

(第52回インナーゼミナール大会参加要項より引用)

👑各教室のグランプリ・準グランプリ👑

A教室	ゼミ名	チーム名
グランプリ	宮川ゼミ	しげちー
準グランプリ	村澤ゼミ	村澤ゼミ -奥山 凜太郎

B教室	ゼミ名	チーム名
グランプリ	宮川ゼミ	MIYAJI
準グランプリ	村澤ゼミ	村澤ゼミ3

C教室	ゼミ名	チーム名
グランプリ	宮川ゼミ	マーベラス
準グランプリ	林亮輔ゼミ	美味しいヤミ 感謝感謝

D教室	ゼミ名	チーム名
グランプリ	林亮輔ゼミ	元〇〇厨と 愉快的仲間たち
準グランプリ	岡田ゼミ	ムーヤンの南京町

E教室	ゼミ名	チーム名
グランプリ	上島ゼミ	児童虐待対策本部
準グランプリ	石田ゼミ	デカンショ節

※F教室はグランプリ未実施

発表者インタビュー

3回生 Y.Yさん

今回、第52回インターゼミナール大会で実際に発表された3回生の方にインタビューしました！
ご協力ありがとうございました！

実際にインターゼミナール大会で発表してみた感想をお願いします。

私のゼミでは、3か月ごとに違ったテーマで他大学と合同での発表会を行っていて、このような場での発表は何度経験していたので、特に緊張などもせずにやり切れたかなと思います。

どうしてこのテーマを研究しようと思われましたか？

就活を意識しだす時期になった時に、学歴の存在に興味を持ったからです。「この大学を卒業していれば」のような大学の持つ一種のブランド力は、今でこそ偏差値などでグループ分けされ確立されていますが、なぜその大学が今のような位置づけになったのかなどに興味を持ったのがきっかけです。

発表で1番伝えたかったことは何ですか？

研究の正確性と、論理的な組み立てによる説得力を伝えたかったです。内容が大学についてだったので、内容自体はみんなに身近で興味深いものだったと思います。内容が回帰分析という難しいものなので、いかに内容が面白いものかを伝えられるように意識しました。

研究や発表で工夫したところや力を入れたところは何ですか？

私のグループでは、回帰分析という手法を用いて客観的な説得力を持たせたかったので、研究を聞き手にしっかりと理解してもらう必要がありました。そのため、集めるデータの種類や数、なぜそのデータを集めることにしたのかなど、自分たちの考えが十全に聞き手に伝えられるように頑張りました。

研究や発表で苦労したところは何ですか？

初めて行う手法を用いた研究で、グループメンバーもみんな手探り状態でのスタートだった点に一番苦労しました。また、グループのスケジュールを合わせるのが難しく、0時にミーティングを始めて次の日の朝に終わるみたいなこともあったのがつらかったです。

実際に発表してみて、100点満点中何点だと思いましたか？
理由も教えてください。

60点です。
ぎりぎりまで研究を進めていたこともあり、パワーポイントの完成度や発表の仕方を練り上げる時間がなく、もっと伝えたい情報や、工夫したい点などがあったのですが時間的に厳しくて、完成度が低くなってしまったかなと思います。

来年度のインナーゼミナール大会参加者へ
メッセージをお願いします。

大会間近の日は毎日のように深夜までチームメンバーで作業をして、大会当日の朝まで準備をするくらい時間がギリギリの研究になったので、来年度大会に参加する人たちは時間にしっかりと余裕をもつことを心がけて、期間内で満足のいく研究ができるよう頑張ってください。

運営側の感想①



私は今回初めて大きなイベントの運営を行いました。インゼミの運営に携わったことで1つのイベントを行うには様々な方の協力が必要だということ、準備段階の重要性を学ぶことができました。また、イベント当日にはマイクで話すことに慣れておらず、声が震えてしまった私と違い、インゼミに参加していた先輩方は堂々と話されていて差を感じました。運営に関しても、研究発表に関しても先輩方と私の違いを感じ、来年度後輩が入ってきて先輩になる身として今回の経験を活かし、さらに頑張っていきたいと思いました。

1回生 H.M



運営側の感想②

今年度のインナーゼミナール大会は、私にとってとても楽しく、達成感のあるものでした。

当日に至るまでの準備においても、すべてが順調に進んだというわけではなく、ヒヤッとすることもありました。当日も、なにかアクシデントが起きていないか常に不安を感じていました。それを経ての閉会式は、非常に達成感を感じましたし、表彰されて喜んでいる参加者の方々を見ると、運営者をやっていてよかったと心から思いました。

来年度は私たちの代が中心となってインゼミを運営します。より良い大会にできるよう、より一層頑張ります。

2回生 K.H

さいごに

発表者の皆様、本当にお疲れ様でした。運営者としていくつか発表を拝見致しましたが、どのチームも興味深く、研究成果が存分に発揮された素晴らしい発表でした。私は来年発表者側になるので、3回生の方々の発表を見本にして、頑張っていきたいと思います。

最後になりますが、今大会におきましてご協力いただきました関係者の皆様、またインタビューにご回答くださった皆様へ、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後もインナーゼミナル大会並びに甲南大学経済学会をよろしくお願い致します。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。

[担当] 布引藍子